

●今月の特集のテーマは・・・



「見上げた先に」

9/12 は宇宙の日、9/20 は空の日

宇宙や空、飛行機に関する本を集めています。

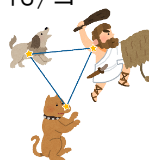


☆『星空がもっと好きになる』

駒井 仁南子/著 誠文堂新光社 (一般) 443/コ

☆『天空の救命室』

福田 和代/著 徳間書店 (一般) F6/フ



☆『空を見上げて歴史の話をしよう』

雪ノ光/著 三省堂 (一般) 210.04/ユ

☆『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂 康之/著, 林 公代/著
イースト・プレス(一般) YA/667.9/コ



敬老の日 「おじいちゃん・おばあちゃん」

9/15 は敬老の日

おじいちゃん、おばあちゃんが活躍する本がいっぱい!



❁『いいからいいから』

長谷川 義史/作 絵本館 (児童) E/ハ

❁『おじいちゃんのふしぎなピアノ』

はまぎし かなえ/作 講談社 (児童) E/ハ



❁『おばあちゃんからライオンをかくすには』

ヘレン・スティーヴンズ/作, さくま ゆみこ/訳
ブロンズ新社 (児童) E/ス



❁『チェックポ おばあちゃんがくれたたいせつなつみ』

イ チュニ/ぶん, キム ドンソン/え, おおたけ きよみ/やく
福音館書店 (児童) E/キ



菊川図書館だより

下関市立菊川図書館

〒750-0317 下関市菊川町下岡枝 1 9 3-8

TEL : 083-287-0102 FAX : 083-287-0202



9月号

2025年9月発行

●開館時間

9:30 ~ 18:30

= 休館日

6日 = おはなしのじかん
14:00~14:30

23日 = 菊川読書の日

27日 = 雑誌リサイクル
9:30 ~ なくなり次第終了 ※おひとり3冊まで

★9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

オススメの児童書 テーマ「関西弁の絵本」

2025年4月13日から10月13日まで、大阪万博が開催されています。大阪にはあまりなじみがないように思いますが、みなさんが普段読んでいる絵本の中には、関西弁で書かれたものがあるのはご存じでしょうか。おもわず声に出して読みたくなる魅力的な関西弁で書かれた絵本を紹介します。



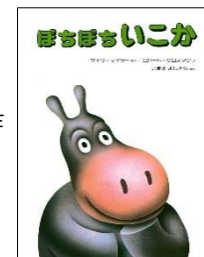
『おこだでませんように』

くすのき しげのり/作

石井 聖岳/絵

小学館

E/イ



『ぼちぼちいこか』

マイク・セイラー/さく

ロバート・グロスマン/え

いまえ よしと/やく

偕成社

E/グ

図書館員 おすすめ

新着図書

『リボンちゃん』 寺地 はるな/著

文藝春秋（一般）F6/テ



頭のリボンがトレードマークの百花は、伯母さんから「リボンちゃん」と呼ばれています。

ある日、伯母の経営するテーラーで下着のリメイクのお手伝いをするに。その後も舞い込む下着の依頼、訳があってやめていた紳士服の作成。本当にやりたいことをリボンのように優しく背中を押してくれる1冊です。

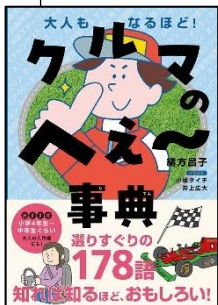
『じゃんじゃん使えるレモンづくし』 農文協/編

農山漁村文化協会（一般）596/ジ



レモンは料理の風味付けや添え物として脇役の食材に思われがちですが、主菜になるおかずやドリンク、スイーツのレシピにも使えます。また枝や葉を使ったグッズ作りや栽培方法、レモンにまつわる物語までレモンについての情報がたくさん載っています。

『クルマのへえ～事典』 緒方 昌子/著, 小坂 タイチ/イラスト, 井上 広大/イラスト 交通新聞社（児童）537/オ



クルマについての言葉をイラスト付きで分かりやすく紹介します。ブレーキや信号機のような誰でも知っているものから道路元標やV6エンジンのような専門的なものまで、大人でも思わず「へえ～」と言ってしまふような言葉が盛りだくさんです。

貸出中の場合は、予約をご利用ください。予約のお申込は、窓口や電話、図書館のホームページから出来ます。



『ぼくのいえ』 鈴木 のりたけ/作・絵

PHP 研究所（児童）E/ス



『ぼくのおふろ』『ぼくのトイレ』『ぼくのふとん』…大人気「ぼくの」シリーズ第6弾は奇想天外な家。「こんな家があったら住みたいな!」「自分ならこんな家を作りたいな!」と、想像がふくらみます。楽しい「絵さがし」も満載の一冊です。

菊川にまつわる“き・く・が・わ・あ・れ・こ・れ”

郷土資料『広報きくがわ縮刷版①』より、今回ピックアップしたのは…。



「パパの餌箱」

今から45年前の昭和55年9月1日号に『パパの餌箱』というタイトルでグリム童話を使ったコラムが掲載されています。ある農夫の年老いた父親が、食事の時に食べものをこぼしたりお皿を割ってしまうので、木の鉢を与えて家族とは別にひとりで食事をさせます。その様子を見ていた農夫の子どもが、将来の父親のために、木で餌箱を作り始めました。農夫は悪いことをしたと反省し、また家族全員で仲良く食事をするようになったというおはなしです。9月15日は敬老の日、日頃から年配の方々を敬う心を忘れずにいたいですね。



※『広報きくがわ縮刷版①』は菊川図書館で閲覧のみ可能です